

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-522771(P2001-522771A)
 【公表日】平成 13 年 11 月 20 日 (2001.11.20)
 【出願番号】特願 2000-520370(P2000-520370)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 13/30 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 13/30 J

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 5 月 18 日 (2005.5.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 敷居モジュールをエレベータシャフトのドア開口の下縁に装着し、その上に、側柱を前記開口の縁部に装着し、該側柱を接続するリンテル、およびドアパネルを懸架する頭上支持体を前記開口の上部に装着する階ドアの装着方法において、該方法は、

- 等しい長さの側柱を敷居モジュールの頂部に装着し、
- 前記側柱をその頂部に装着されたリンテルによって互いに接続し、
- 前記頭上支持体を前記リンテル上に配置して該リンテル上に載置し、
- 前記頭上支持体をその両端で壁に固定することを特徴とする階ドアの装着方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の方法において、前記リンテル上に載置された頭上支持体を該リンテルに固定することを特徴とする階ドアの装着方法。

【請求項 3】 請求項 1 に記載の方法において、前記敷居モジュールに取り付けられた前記リンテルおよび側柱をクロス測定し、前記壁に固定してから、前記頭上支持体を前記リンテル上に運ぶことを特徴とする階ドアの装着方法。

【請求項 4】 エレベータシャフトのドア開口の下縁に装着される敷居モジュール、側柱、リンテルおよび頭上支持体を含む階ドアの装着システムにおいて、前記側柱の頂部に装着されたリンテルおよび頭上支持体には、互に対応する固定部品およびブラケットが設けられ、前記頭上支持体を前記リンテルによって支持してから前記ドア開口の縁部に固定することができることを特徴とする階ドアの装着システム。

【請求項 5】 請求項 4 に記載のシステムにおいて、前記リンテルの固定部品は、スロット、開口、スリーブ、支持ピンもしくは前記ブラケットと係合するように構成された同等の要素を含むことを特徴とする階ドアの装着システム。

【請求項 6】 請求項 4 に記載のシステムにおいて、前記ブラケットは、トンク、ピン、ラグ、または固定部品に固定する同等の突起からなることを特徴とする階ドアの装着システム。

【請求項 7】 請求項 4 に記載のシステムにおいて、前記ブラケットに設けられたラグまたは同等物は、前記リンテルに設けられた支持部品と係合することを特徴とする階ドアの装着システム。

【請求項 8】 請求項 4 に記載のシステムにおいて、前記頭上支持体の端部には固定点が設けられ、前記リンテル上に載置されている頭上支持体を前記壁に固定させることを特徴とする階ドアの装着システム。

【請求項 9】 請求項 4 に記載のシステムにおいて、前記リンテルには装着ブラケットが設けられ、これによって前記側柱上に載置されたリンテルを前記壁に取り付けてから、該側柱およびリンテルのクロス測定を行なうことができることを特徴とする階ドアの装着システム。

【請求項 10】 請求項 8 に記載のシステムにおいて、前記装着ブラケットは可撓要素を含み、前記リンテルおよび側柱が前記壁から適切な距離まで該壁に垂直に移動できることを特徴とする階ドアの装着システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

頭上支持体は、その自重によってリンテルに載置させておくことができ、適当な固定部品およびブラケットによってのみ位置を保っているが、頭上支持体は、リンテルに適切に配置された後は、リンテルに、たとえば適当なボルトによって取り付ける。